

仲間とともに名曲を響かせて

流山フィルハーモニー 交響楽団



設立30年を迎える流山フィルハーモニー交響楽団は、流山市に住む人々を中心としたオーケストラ。音楽を愛する人たちが集まり、毎年2回の定期演奏会を中心に活動をしています。今年12月の演奏会では、6年ぶりにベートーヴェンの「第九」を披露。練習にも熱の入る団員のみなさんに、オーケストラと音楽に対する思いをお聞きしました。





市制20周年を

記念してつくられた

流山市のオーケストラ

流山フィルハーモニー交響楽団、通称「流フィル」が設立されたのは、今から30年前、1987年のこと。流山市制施行20周年を記念して、市内の音楽家、音楽教室、教員、アマチュアの音楽関係者を中心として発足されました。当初は、中学生以下の「ジュニア」と高校生以上の「シニア」の2つに分かれ、総勢100名以上が在籍する大所帯ですが、若いメンバーは進学や仕事の都合で流山を離れることも多く、現在はジュニアとシニアが統一され、40名ほどの団員が一つのオーケストラを創り上げています。

「ずいぶん人数が減った時期もありましたが、つくばエクスプレスが開業してからは、団員数は増加傾向にあります」。そう話してくれたのは、団長をつとめる戸倉さん。オーケストラではホルンを担当されています。「現在は、夏と冬、年2回の定期演奏会を中心に活動しています。以前は、シヨッピングセンターのオープニングセレモニーやクリスマスコンサートなども行ってい

ました。いずれは、そうしたミニコンサートも復活させたいと思っています。団員も、もっと増やしていけたらいいですね。入団希望はいつでも大歓迎です。練習は週に一度の日曜日。現在は、12月に行われる定期演奏会に向けて、熱のこもった練習が行われています。



メンバーはさまざま

共通するのは 音楽を愛する気持ち

団員は流山市内だけでなく、柏や松戸などの周辺の市町村、つくばエクスプレス沿線の守谷や都内からなど、さまざまな場所に住む人で構成されています。住む場所もそれぞれなら、年齢層も20代から70代まで幅広く、元プロの演奏家や幼少期からバイオリンを習っていた人、学生時代の吹奏楽部で楽器を始めた人と経歴もさまざまです。

「流フィルには中学2年生の頃に入団しました。その頃は大人たちに交じって演奏することに緊張もしましたが、とてもいい経験になりました」。そう話すのは、ホルンを担当する鈴木さん。何度かの休団期間をはさみ、発足当時の30年前から在籍されています。「私のように、自分の生活の都合に合わせて、活動をしているメンバーも多いです。一度離れても、また戻れば一緒に音楽を創り上げられるのは、お互いの信頼関係があるからこそだと思います」。

「子育てが一段落したタイミングで、十年以上にぶりにオーケストラに入りま

した」と、笑顔で話してくれたのはフルートの須田さんです。「きっかけは、流フィルの演奏会を聴きに行ったことでした。それまでは日々の生活が忙しくて、楽器には全く触っていませんでしたが、演奏を聴いて「私もまた楽器を弾きたい」と、入団を決めたんです。長いブランクからの復帰で、苦労することもありましたが、仲間の存在のおかげで楽しく活動ができています」。



▲団長の戸倉さん。音楽とオーケストラへの思いを聞かせていただいた。

さまざまなお人たちが在籍する楽団だから、思うように練習がすすまない時もあります。演奏だけでなく、いろいろな調整や宣伝なども分担して行わなければいけませんし、本番が近づいても演奏がまとまらない時は「どうしよう」と不安にもなります。それでもやっぱり、仲間と音楽を創り上げていく喜びはとても大きいものです。ベートーヴェンやブラームスは、日本の流山という場所で自分の曲が演奏されるなんて、考えてもいなかったと思いますが、そうした名曲を、自分たちで地元にかせることができるのは、とても幸せなことだと思います」。



▲フルート担当の須田さん。



▲年齢・経歴さまざまなメンバーが心を合わせて音楽を奏でる。



思いを込めた音楽を 聴く人々に届けたい

今年冬の演奏会は12月17日。昨年春にオープンしたキッコーマンアリーナにて開催です。今年は流山市制50周年ということで、それを記念した特別演奏会となります。曲目はベートーヴェンの「エグモント」序曲と交響曲第9番「合唱付き」。第9は流山市によって公募された合唱団とともに演奏します。「演奏会の企画は、毎回団員みなでアイデアを出し合って決めていきます。自分たちには難しいと思える曲に挑戦することもあり、大変なこともありませんが、それを乗り越えて舞台に立つのはとてもやりがいがあります。今回の演奏会では、通常の練習にくわえて、合唱団との練習も必要になります。プレッシャーも大きいです。聴きにくくしてくれる方たち楽しんでもらえる音楽をお届けするためにがんばります」。

お話を聞くほどに、オーケストラと音楽への深い愛情が伝わってくる団員のみなさん。年の瀬の流山にどんな音楽を響かせてくれるのか、演奏会がとても楽しみです。



流山市制施行 50 周年記念第九演奏会

2017年12月17日(日) 13:00 開場 14:00 開演

曲目 | ベートーヴェン 交響曲第9番「合唱付き」
 | ベートーヴェン 「エグモント」序曲
 指揮：武藤英明

会場：キッコーマン アリーナ (流山市民総合体育館)

全席自由 チケット 1,500 円 (前売当日とも)

お問い合わせ・事務局：04-7154-9161 (斉藤) 04-7147-7154 (大塚)

